

財務会計Ⅰ 休業中の課題 その1～3 解説

全ての問題ではなく、一部のみを解説します。

これを参考にすれば、他の問題もできると思います。

もちろん、別冊の解答を参照してもかまいません。

また、理解できなかった部分があっても、学校再開後の授業できちんと教えますので、安心してくだされいね。

課題 その1 解説

P. 62～69は、「簿記」の授業ですすでに学んでいる部分です。

それを思い出しながら、取り組んでください。

19-1

		資産の増加			費用の消滅
8/1	保険料	72,000		当座預金	72,000
12/31	前払保険料	42,000		保険料	42,000
〃	損益	30,000		保険料	30,000
1/1	保険料	42,000		前払保険料	42,000
					資産の減少

19-2

「消耗品費」は費用、「消耗品」は資産であることに注意してください。

20-1

		収益の消滅			負債の増加
9/1	現金	360,000		受取家賃	360,000
12/31	受取家賃	120,000		前受家賃	120,000
〃	受取家賃	240,000		損益	240,000
1/1	前受家賃	120,000		受取家賃	120,000
					負債の減少

20-2

「受取利息」は収益、「前受利息」は負債であることに注意してください。

21-1

12/31	支払地代	120,000	未払地代	120,000
〃	損益	480,000	支払地代	480,000
1/1	未払地代	120,000	支払地代	120,000
3/31	支払地代	240,000	現金	240,000

負債の増加 (未払地代)

負債の減少 (未払地代)

費用の発生 (支払地代)

21-2

「支払家賃」は費用、「未払家賃」は負債であることに注意してください。

21-3

「支払利息」は費用、「未払利息」は負債であることに注意してください。

22-1

10/1	定期預金	900,000	当座預金	900,000
12/31	未収利息	4,500	受取利息	4,500
〃	受取利息	4,500	損益	4,500
1/1	受取利息	4,500	未収利息	4,500
10/1	現金	18,000	受取利息	18,000

資産の増加 (定期預金)

収益の消滅 (受取利息)

資産の減少 (受取利息)

課題 その2 解説

分割払いで売った時の代金を「割賦(かっぶ)売掛金」といいます。「割賦売掛金」は資産です。

1-1

11/10	割賦売掛金	244,000	売上	244,000
	現金	24,400	割賦売掛金	24,400
12/10	現金	24,400	割賦売掛金	24,400

資産の増加 (割賦売掛金)

資産の減少 (売上)

資産の減少 (割賦売掛金)

まだ到着していない商品を「未着商品」といいます。「未着商品」は資産です。
 また、まだ届いていない商品の代わりに受け取る「貨物引換証」や「船荷証券」を他の商店に売ることできます。

2-1

資産の増加

資産の減少

(1)	未着商品	600,000	買掛金	600,000
(2)	仕入	635,000	未着商品	600,000
			現金	35,000

2-2

資産の増加

資産の減少

(1)	未着商品	800,000	前払金	80,000
			買掛金	720,000
(2)	受取手形	950,000	売上	950,000
	仕入	800,000	未着商品	800,000

委託販売するために他店に商品を発送した場合、「仕入」という費用が消滅し、「積送品」という資産が増加します。

3-1

資産の増加

費用の消滅

4/10	積送品	821,000	仕入	800,000
			当座預金	21,000
5/13	当座預金	889,000	売上	889,000
	仕入	821,000	積送品	821,000

費用の発生

資産の減少

課題 その3 解説

期日までの支払いが困難になった場合、支払期日を延期した「新しい手形」と「古い手形」を交換することがあります。それを「手形の書き換え」といいます。

5-1

当店	受取手形	700,000	受取手形	700,000
	現金	5,850	受取利息	5,850
夕張商店	支払手形	700,000	支払手形	700,000
	支払利息	5,850	現金	5,850

資産の増加 (受取手形)

資産の減少 (現金)

負債の減少 (支払手形)

負債の増加 (現金)

5-2

9/20	宗谷商店	現金	300,000	手形借入金	300,000
	礼文商店	手形貸付金	300,000	現金	300,000
12/1	宗谷商店	手形借入金	300,000	手形借入金	300,000
		支払利息	6,000	現金	6,000
12/1	礼文商店	手形貸付金	300,000	手形貸付金	300,000
		現金	6,000	受取利息	6,000
2/11	宗谷商店	手形借入金	300,000	当座預金	300,000
	礼文商店	現金	300,000	手形貸付金	300,000

負債の減少 (手形借入金)

負債の増加 (現金)

資産の増加 (手形貸付金)

資産の減少 (当座預金)

支払期日になっても支払われない手形の代金を請求する権利を「不渡手形」といいます。「不渡手形」は資産です。

6-1

(1)	不渡手形	604,000	受取手形	600,000
			現金	4,000
(2)	当座預金	609,600	不渡手形	604,000
			受取利息	5,600

資産の増加 (不渡手形)

資産の減少 (現金)

資産の増加 (当座預金)

資産の減少 (不渡手形)

6-2

資産の減少

貸倒引当金	205,000	不渡手形	205,000
-------	---------	------	---------

6-3 (2) b

「貸倒損失」は費用であることに注意してください。

P. 60~61の「訂正仕訳」は「簿記」の授業で学んだことを活かせば理解できると思います。じっくりと考えてみてください。

18-1

収益の消滅 (売上をなしにする)

資産の減少 (売掛金を減らす)

(1)	売上	57,000	売掛金	57,000
-----	----	--------	-----	--------

外出自粛の生活が続き、みなさんも大変だと思います。

1月の簿記検定2級の合格を目指している人は、授業を受けられないことに不安を感じているかもしれません。

学校が再開しましたら、1月の検定に十分に間に合うように授業を進めていきたいと思いますので安心してください。

教科担当 小林 宏